

ステレオイヤールシーバー

取扱説明書

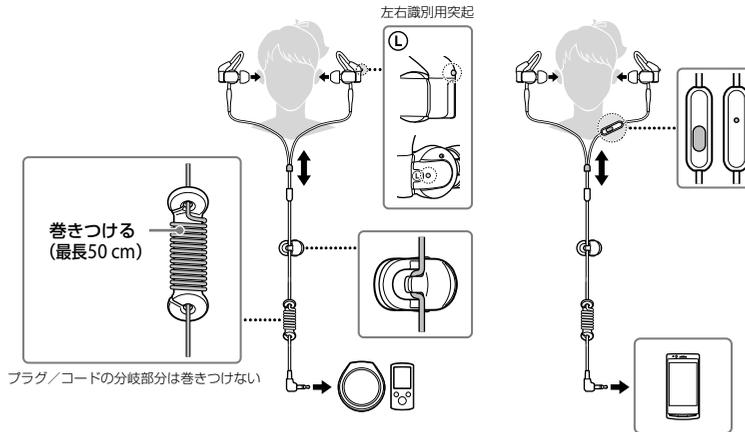


4-472-050-02(1)

XBA-H3

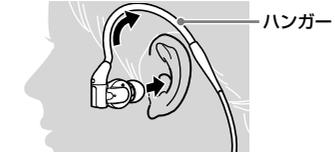
本機を装着する

おさまりのいい位置に装着してください。

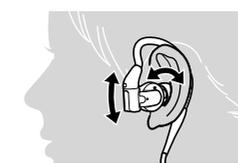


1 ハンガーを耳の後ろにかけながら、本体を耳に装着する。

あらかじめ、ハンガーを耳の形になるように曲げる。



2 本体を上下左右に動かして、おさまりの良い位置に調節する。



3 ハンガーが耳にぴったりと沿うように調節する。

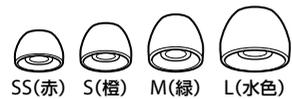


💡 ヒント
耳の根元をハンガーと本体で挟み込むように押さえると、イヤールシーバーが安定します。

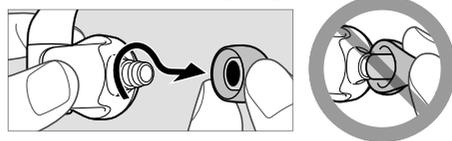


イヤールピースを交換する

ハイブリッドイヤールピース



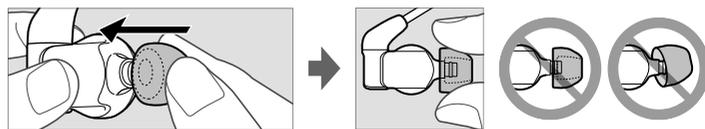
●イヤールピースのはずしかた



シリコンフォームイヤールピース



●イヤールピースのつけかた



イヤールピースがはずれて耳に残らないよう、しっかりつけてください。

低音が不足していると感じたときは、左右それぞれの耳にフィットするイヤールピースに交換してください。

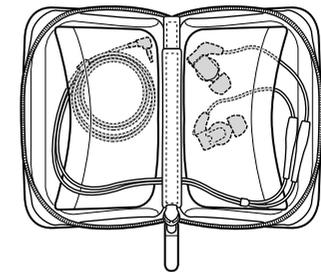
シリコンフォームイヤールピースについて

本機には、より耳にフィットし、遮音性を向上させる目的で、シリコンフォームイヤールピースを付属しています。

ご注意

- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなるおそれがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 発泡部を持ったり引っ張ったりしないでください。イヤールピースから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡シリコン素材は、長期の使用・保存により劣化します。劣化すると本来の性能が機能しなくなるおそれがあります。
- 発泡シリコン部に力を加えたりしたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。

キャリングケースを使う

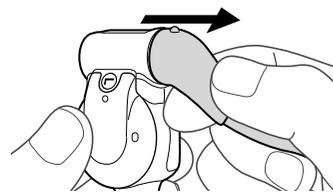


ご注意

- コードが断線するおそれがありますので、キャリングケースを閉じる際にはコードをはさまないようご注意ください。

コードを交換する

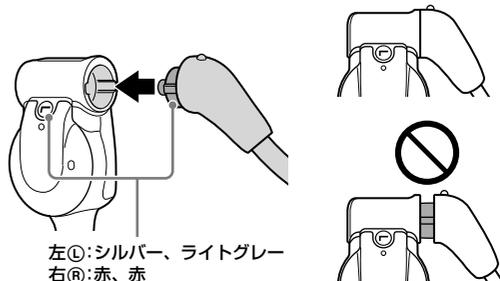
●コードのはずしかた



ご注意

- ハンガーを直接引っ張ると断線するおそれがあります。根元部分を引っ張ってください。
- ハンガーの根元を回さないでください。破損の原因となります。
- コードをはさずとき、斜めに引っ張らないでください。コードがはずれにくくなります。

●コードの取りつけかた



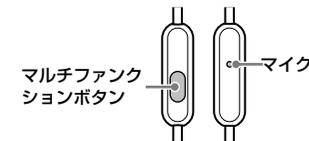
左①: シルバー、ライトグレー
右②: 赤、赤

ご注意

- コードを取りつけるときは、コードの先とイヤールシーバー左右にある表示部の色を確認してください。

リモコン/マイクを使う

リモコン付コードでは、スマートフォンを操作できます。



デジタルミュージックプレーヤーでの動作は保証していません。

マルチファンクションボタンの使いかた*

- 押すと通話、音楽再生ができます。通話を終了、音楽を一時停止するにはもう一度押してください。
- * 対応していないスマートフォンに接続した場合、マイクが使用できなかったり、十分な音量が得られないことがあります。お使いのスマートフォンによって動作が異なったり対応していないことがあります。最新の対応機種は下記のホームページからご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/headphone/>

- Smart Key アプリ*を Google Play™ストアからインストールすると、音楽再生時のトラックコントロールや音量調整も可能になります。

* Smart Key は Android™ OS 4.0以上の Xperia™ 専用のアプリです。対象外の端末からや、一部の国・地域ではアプリがダウンロードできない場合があります。
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.sonymobile.extras.liveware.extension.smartkey>



主な特長

- **HDハイブリッド3ウェイドライバーユニット**
大口径16 mmダイナミックドライバーユニットとバランスド・アーマチュア・ドライバーユニットを2基(フルレンジ+HDスーパートゥーター)組みあわせた、ソニー独自開発のHDハイブリッド3ウェイドライバーを搭載しました。クリアで深みのある低音から鮮やかできめ細かい高域まで、全帯域にわたって音楽の感動を再現します。
- **HD スーパートゥーター**
振動板にアルミニウムを採用し軽量化と高剛性化を両立し、超高音域再生を実現しました。
- **液晶ポリマーフィルム振動板(ダイナミックドライバー)**
広帯域にわたって高剛性と高内部損失を両立し、高解像度の音質を実現。

- **重低音のリズムを正確に再現するビートレスポンスコントロール**
ダイナミックドライバー背面に直結した極細の音響負荷チューブで振動板の動作を最適化。低域の過渡特性を改善し、リズムを正確に再現します。
- **不要な振動を抑制する制振ハウジング**
それぞれのドライバーを固定するハウジングに制振性に優れた材料を採用。不要な振動を抑えクリアな音質を実現します。
- **コードを使い分けられる着脱式**
通常のオーディオコードと、スマートフォンハンズフリー通話に対応した「着信／終話、音楽動画再生／一時停止」などの操作が可能なマイク／リモコン付きコードを付属。

- **アジャストフリーイヤーハンガー**
形状記憶樹脂「テクノロート®」を芯材に、肌触りの良いシリコンを表面に配した新構成としました。耳にあわせてハンガーの形状を自由に変えることが出来、快適で安定した装着を実現します。
- **シリコンフォームイヤーピース**
イヤーピース内部にやわらかい発泡シリコン材料を使用することで、より高い装着安定性と遮音性を実現します。

主な仕様

ヘッドホン部	
形式:	密閉ハイブリッド
ドライバーユニット:	ハイブリッド3ウェイ (16 mm ダイナミック + 2基 バランスド・アーマチュア)
最大入力:	100 mW(IEC*)
インピーダンス:	40 Ω (1 kHzにて) 107 dB/mW
音圧感度:	107 dB/mW
再生周波数帯域:	3 Hz～40,000 Hz
コード:	約1.2 m OFC リッツ線(着脱式 イヤーハンガー、Y型)
プラグ:	金メッキL型ステレオミニプラグ、 4極金メッキL型ステレオ ミニプラグ
質量:	約10 g(コード含まず)

マイク部	
方式:	インラインマイクロホン
形式:	エレクトレットコンデンサー
開回路電圧レベル:	-40 dB(0 dB=1 V/Pa)
有効周波数帯域:	20 Hz～20,000 Hz

付属品
ハイブリッドイヤーピース(SS、S、M、L各2、
出荷時はMサイズが装着)／シリコンフォームイヤーピース(S、M、L各2)／キャリングケース(1)／コード長アジャスター(1)／リモコン付き着脱式イヤーハンガーコード(約1.2 m、OFC リッツ線(Y型、4極金メッキL型ステレオミニプラグ)／クリップ(1)

* IEC(国際電気標準会議)規格による測定値です。

安全に関するお知らせ

⚠ 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

安全のために
ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべてまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
● 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
● 安全のために注意事項を守る。

- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠ 警告

交通安全のために

運転中は使用しない
自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機は絶対に使わないでください。**交通事故の原因となります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。**

⚠ 注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えること

- があります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 音量を上げすぎると音が外に漏れます。まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- 本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合はすぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかりと取り付けてください。イヤーピースがはずれにくいときは乾いた柔らかい布でぐるぐるはしすやすくなります。
- スマートフォンとつないだ本機をかばんなどに一緒に入れる場合は、誤ってリモコンのボタンを押してしまわないようご注意ください。

取り扱い上のご注意

- **本機は精密機器のため落としたりぶつけたりせずに、ていねいに扱ってください。**
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ユニット部とプラグは、乾いた柔らかい布で時々からぶきしてください。
- ユニット部に息を吹きかけないでください。
- イヤーピースがはずれにくいときは乾いた柔らかい布でぐるぐるはしすやすくなります。
- イヤーピースが汚れたら本機からはずして薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にビリビリと痛みを感じる場合があります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

イヤーレシーバーをはずすときは
使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。

ご注意
本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、装着しているときに振動板から音が生じる場合がありますが故障ではありません。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りのEP-EX11シリーズ(SS、S、M、L、LLの各サイズ)をお買い求めください。

シリコンフォームイヤーピース、着脱式コードが破損した場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

お問い合わせ・ご相談について

ホームページで調べる よくあるお問い合わせ、窓口受付時間など http://www.sony.jp/support/
電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口) <ul style="list-style-type: none">● 使い方相談窓口 フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話……………050-3754-9577● 修理相談窓口 フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話……………050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に、「 309 」+「 # 」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。 FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品登録のおすすめ

ソニーは製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

スマートフォン、パソコンから
<http://www.sony.co.jp/avp-regi/>
スマートフォン、携帯電話から
<http://reg.msc.m.sony.jp/avp/>



2次元コード読み取り機能でご利用ください。

製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング(株)
My Sony Clubお客様窓口
電話:フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話・PHS一部のIP電話:050-3754-9639
受付時間:月～金 9:00～18:00
土日祝 9:00～17:00